

CIGS 医療介護福祉改革シンポジウム

「世界の新潮流 全体最適を目指す Population Health と New Technology」

【開催趣旨】

2018年11月に開催したシンポジウムでは、わが国でも始まった Population Health の視点に基づく医療制度福祉改革について実例を紹介しながら解説した。その後、2019年3月に米国での Population Health と AI、ICT 活用等の最新事情を現地調査、英国、豪州、スウェーデンの動向も調査した。そこで、今回は米国から Population Health とデジタルヘルスの専門家を招き、日本で医療イノベーションを牽引する実務家と議論して頂く。

【日 時】 2019年11月5日（火）13:00～17:00（12:30 受付開始）

【会 場】 ステーションコンファレンス東京 会議室 501AB

東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー5F

【言 語】 日本語/英語（同時通訳あり）

【参加費】 無料

【定 員】 200名

【プログラム】

13:00 - 13:05	開会の挨拶 福井俊彦 キヤノングローバル戦略研究所 理事長
13:05 - 13:20	講演「各講師発表の意義について」 松山幸弘 キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹
13:20 - 13:45	講演「破壊に直面している医療を再構築する～Population Health の全体像～」 Charles A. Pohl, MD Thomas Jefferson University 教務副部長/医学部教授
13:45 - 14:10	講演「Population Health と新技術～AI, Digital Health 活用の具体例～」 Michael M. Dudley Sentara Healthcare 前役員
14:10 - 14:45	講演「日本海ヘルスケアネット～地域 ICT 関連共同事業について～」 栗谷義樹 地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネット 代表理事
14:45 - 15:20	講演「日本の医療課題を解決するデジタルヘルスの現状と可能性」 武藤真祐 株式会社 インテグリティ・ヘルスケア 代表取締役会長 医療法人社団鉄祐会 理事長
15:20 - 15:35	休憩
15:35 - 16:55	パネルディスカッション モデレーター：松山幸弘 パネリスト：Charles A. Pohl、Michael M. Dudley、栗谷義樹、武藤真祐
16:55 - 17:00	閉会の辞 松山幸弘